| | |
|---|---|
| 事例No. | 2437 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 公益社団法人　中越防災安全推進機構　ムラビト・デザインセンター |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・移住定住<br>・人材確保・育成<br>・関係人口 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 地域振興 |

事例内容・タイトル

多様な人材による中越の新しい地域づくり「にいがたイナカレッジ」

出典

平成28年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

# 多様な人材による中越の新しい地域づくり「にいがたイナカレッジ」



「千年の市じろばた（農家レストラン、直売所）」の長期インターン生（右）と受け入れ先のお母さん。１年間、仕事と暮らしを共にし、実の親子のような関係を築いている。

## 事例の概要



ムラビト・デザインセンターのメンバー。左から野村佑太、日野正基、阿部巧、金子知也。

新潟県中越地域は、新潟県の真ん中に位置し、長岡市、柏崎市、十日町市、魚沼市などの中心部のほか、周辺には広大な中山間地域が存在する。

2004 年に起こった新潟県中越地震により、中山間地域における小規模集落の多くが被災をした。

災害復興のため、ボランティア等の力を借りながら、将来的に活気のある集落として存続していくことを目標に、様々な地域づくりを進めてきたが、地域の担い手づくりが課題となった。

こうした課題解決に向け、公益社団法人中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンターでは、将来の地域の担い手づくりや地域活動を活性化させるため、都市部の若者が１年間集落に滞在しながら、暮らしを学ぶ「にいがたイナカレッジ」長期インターンシップ事業を実施するほか、首都圏での交流イベントやツアー、短期滞在型のプログラム等の段階的なプログラムを実施している。

このような地域内外の人材と復興支援員等の人材との連携を図りながら、震災復興を超えた活気ある「新しい中越の日常」を目指している。

## 評価のポイント

「にいがたイナカレッジ」と名付けた今事業は、都市部で暮らす若者に田舎暮らしを体験してもらうインターンシップを核とした事業である。１年間の「長期」と１カ月程度の「短期」など様々なメニューがある。インターン生には月５万円、受け入れ側には同４万円の手当を支給している。

本格的に事業を始めた平成 24 年度以降、長期インターンで 24 人を受け入れ、農業体験や特産物販売所などで働きながら、地元の催しなどへの参加を通じて「田舎」を学んでもらっている。インターン生はその後、ほぼ半数が定住している。インターンを受け入れている集落・地域は延べ 50 程度に上る。

外部から若い人材を招いて地域の新たな活力にしようという点では「地域おこし協力隊」と同じだが、期間が短く、応募のハードルを低くしている点が大きく異なる。これは、外部の人材に最初から過度に期待するのではなく、「田舎のライフスタイルや、そこで暮らす人々に共感を抱いてもらう」ことこそが、移住につながる近道なのではないか、という同団体の考え方に基づいている。

地域おこし協力隊が国の財政支援をベースに取り組まれているのに対して、地域主導の人材誘致事業である点も大いに評価できる。しかも、行政主導ではないので、同事業にかかわる民間職員が固定されており、その分、事業の継続性も期待できる。

この「にいがたイナカレッジ」は新潟中越地震を受けた様々な復興活動のひとつという位置付けになっており、インターンシップ事業の財源も主に震災復興基金から支出されている。同基金は残高が少なくなっており、基金に依存しない事業形態が課題になる。同団体は受け入れ地域が費用を負担する形への移行を模索している。

今事業は都市から地方への人材誘致の新たな手法といえ、高く評価できる。



インターンシップをスタートするに当たり、目的や目標設定、活動計画づくりなどの研修を実施。



地域のみなさんと農作業をするインターン生。仕事から暮らしまでひっくるめて地域の皆さんが先生となり、暮らしを学ぶ。

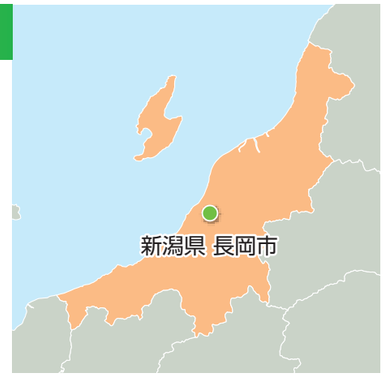


東京で開催した「全国移住女子サミット」。先輩移住者が自らの想いや暮らしを都市に住む人たちに伝えている。

## DATA　新潟県 長岡市（ながおかし）

団体名▶公益社団法人　中越防災安全推進機構　ムラビト・デザインセンター
所在地▶〒940-0062　新潟県長岡市大手通2-6フェニックス大手イースト2F
連絡先▶TEL：0258-39-5525　FAX:0258-39-5526
E-mail:info@c-bosai-anzen-kikou.jp　URL:http://www.cosss.jp/

**【交通のご案内】**
自動車▶関越自動車道　長岡ＩＣから車で15分
鉄　道▶JR上越新幹線・信越本線　長岡駅から徒歩5分
飛行機▶新潟空港から
バスで新潟駅→JR上越新幹線・信越本線「長岡駅」




▶国勢調査人口（単位：人）

| 昭和35年 | 昭和55年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 |
|---|---|---|---|---|
| 284,028 | 289,234 | 292,887 | 288,457 | 282,674 |

▶人口増減率（単位：%）

| H22/S35 | H22/S55 | H22/H12 | H22/H17 |
|---|---|---|---|
| -0.5 | -2.3 | -3.5 | -2.0 |

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

| 高齢者比率（65歳以上） | 若年者比率（15歳以上30歳未満） |
|---|---|
| 25.4 | 14.3 |